

天川村の地元小中学生に 砂防事業の出前講座を行いました

紀伊半島大水害から10年
-あの日の災害を忘れない-

～紀伊山系砂防事務所・大規模土砂災害対策技術センター～

- 紀伊半島大水害で大きな被害を受けた天川村冷水地区校区内の天川小中学校の生徒を対象に、防災学習の一環として、砂防事業の必要性や冷水地区での事業に関する出前講座を実施しました。
- 梅雨明け後の強い日差しの中、工事現場で行われている対策工事を見学してもらったほか、ICTを活用した建設機械についても学んでいただきました。



<開催日>

令和3年7月19日（月）9:40～11:30

<見学場所>

冷水地区（奈良県天川村坪内）

<参加者>

天川村立天川小中学校 7～9年生、教職員【計 約40名】



ランチルームで土砂災害についての講義を実施。



深層崩壊についても詳しく説明

冷水地区の工事現場に移動して、対策工事の内容を説明。



土砂崩れ実験キットで勉強も説明

さらにICTを活用した重機、工法やインフラDXについても説明。



ICT建機にも触れていただきました

最後はみんなで記念撮影。



生徒さんの感想

- ・土砂災害には複数種類があることや、村内で100箇所以上も土砂災害が発生する恐れがあることを知りました。
- ・土石流や地すべりなどの土砂災害は、身近に起こることが分かりました。日頃から気をつけたいです。
- ・10年前の災害発生時の記憶はないので、今まで実感がわかなかつたですが、工事現場に来てみて、改めて本当に大きな災害だと感じました。土砂災害を防ぐ方法を実験キットで見せてくれて分かりやすかったです。
- ・国と県が工事する違いが分かりました。重機がカッコよくて、乗れてうれしかった。

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 調査課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL 0747-25-3111 (代)

